

講義名	日本語D (話す)			授業形態	
担当教員	新井 佳子	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要
この授業では、談話の構造を意識して、まとまりのある話ができるようになることを目指す。また、ペア/グループワークを通して、コミュニケーション能力を高める。

到達目標
・実際のコミュニケーション場面で、話題に応じた語彙・表現が使用できるようになる。
・身近な話題や自分の計画、意見などを、聞き手にわかりやすく伝えることができるようになる。
・学生同士がコミュニケーションを取りながら、良好な人間関係を築くことができるようになる。

提出課題
授業中に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
口頭発表後にフィードバックを行う。

評価の基準
授業の参加度（普段の発表・スピーチ・グループワーク等）60%
中間課題 20%
期末課題 20%

履修にあたっての注意・助言他
・出欠は毎回とる。
・15分以上の遅刻は欠席とみなす。
・遅刻3回で1回欠席とする。
・全授業回数の1/3以上欠席した場合は、単位を認定することができない。
・真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書
.使用しない。

参考図書
.なし。

その他
授業中に資料を配布する。

授業計画
第1回 オリエンテーション、自分を知ってもらおう
第2回 自分を知ってもらおう
第3回 スピーチ 「将来の夢1」、「おすすめの商品1」
第4回 スピーチ 「将来の夢2」、「おすすめの商品2」
第5回 スピーチ 「おすすめの商品1」、「住みよい社会1」
第6回 スピーチ 「住みよい社会2」
第7回 中間課題（スピーチ）
第8回 ディスカッション 「異なる意見・価値観」
第9回 ディスカッション 「遺伝子検査」
第10回 ディスカッション 「輝光の忌避剤」
第11回 活動 概要説明、テーマ決め
第12回 活動 発表準備
第13回 活動 発表準備
第14回 期末発表
第15回 期末発表、振り返り

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> A: PBL (課題解決型学習)	<input type="radio"/> イ: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> U: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ: グループワーク
<input type="radio"/> O: プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ: その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
【予習】
事前に配布する資料について、新しい語彙や表現等の意味を調べておくこと。(2時間程度)
【復習】
授業で学習した語彙・表現を使った会話を作成し、口頭練習すること。授業で扱ったトピックについて、自分の経験や意見等をまとめ、わかりやすく伝えられるようにしておくこと。(2時間程度)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
留学生を対象とした科目群で、実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考